



病気を持った患者の歯科治療シリーズ 第4回 呼吸器疾患を持った患者への 歯科治療 肺疾患は誤嚥への配慮を



林 真一郎 先生

12月7日(木) 佐賀市アバンセにて、林真一郎先生(高木病院副院長・呼吸器センター長)を講師に、病気を持った患者の歯科治療シリーズ第4回「歯科医が知っておきたい呼吸器関連疾患について」を開催し、20医療機関から33名の参加がありました。以下、参加者からの報告です。

成人喘息の5〜10%を占める「アスピリン喘息」はNSAIDsの投与によって、強い発作を引き起こす可能性があるため注意が必要とのことでした。しかもその約半数は潜在してNSAIDsの投与によって初めて明らかになるらしく、初診時に喘息や呼吸器症状の有無やNSAIDsの使用歴について必ず問診しておくことが求められます。また、副鼻腔炎や鼻ポリープと合併しやすいためこちらにも問診しておくことが必要です。

喘息患者はNSAIDsを投与する場合には医師の主治医の先生に指示を仰ぐべきとのこと。合わせて、患者さんにも服用後何か異常が起きたらすぐに受診するように説明しなければいけません。それでも発作等の緊急事態が起きてしまった場合は、酸素投与+病院搬送すること。また、エビネフィリン投与が有効。添加物によるアスピリン喘息増悪の可能性もあるためステロイドの経静脈的投与はしないようにとのことでした。

COPD(慢性閉塞性肺疾患)患者は、高い割合で誤嚥を引き起こすため、しっかりと吸引しながら歯科治療を行うよう注意すべきとのこと。処置時にも誤嚥が起きてしまった場合は、こちらもすぐに病院搬送

するようにとのことでした。喘息とも合併している場合もあるため、前述のようにNSAIDs投与時には注意が必要とされます。

もしも治療中にいびきをかいていたり無呼吸がある場合には、睡眠時無呼吸症候群を疑い専門医へ紹介し連携を取りながら治療を進めるべきとのこと。もし全身麻酔下で口腔外科的処置を行う場合は気道閉塞のリスクが高いため注意が必要です。

肺炎の既往がある患者に対しては嚥下機能障害を念頭に慎重に治療にあたり、口腔内を清潔に保つことが肺炎を防ぐことにつながるため、むしろ積極的に関内ケアに努めるべきとのことでした。

いずれにしても、医師の先生と積極的に連携しながら、少しでも異常を感じればすぐに相談したり病院へ搬送するなどの対応を取ることが大切であると痛感いたしました。



(F)

佐賀県保険医新聞

発行所
佐賀県保険医協会
佐賀市駅前中央1-9-45
(三井生命ビル4F)
電話 0952(29)1933
FAX 0952(23)5218
HP <http://saga-doc.jp>
E-mail hoken-i@star.saganet.ne.jp
購読料 1部 200円
送料込 年間2,400円
(会員の購読料は会費に含まれています)

ご協力ありがとうございました

符合案 キャンペーン **クイズで考える 私たちの医療**

ご協力いただいております待合室キャンペーン「クイズで考える私たちの医療」は全国から64,410筆(佐賀協会1,470筆)の応募があり、1月27日(土)、28日(日)に東京で行われた保団連定期大会で景品抽選会があり、当協会での取り組みが評価され、藤戸会長が保団連理事らと抽選を行いました。その結果、なんと佐賀から1位(お掃除ロボット)の景品当選者が出ました。詳細については、来月号で掲載予定としております。

この度は、ご協力ありがとうございました。今後も何卒よろしくお願いたします。

新点数説明会のご案内

会員参加費無料

4月1日からの診療報酬改定に当たり、下記の通り説明会を開催いたします。
ご案内チラシ等を同封しておりますので、詳細はチラシにてご確認ください。

歯科 3月18日(日) 18:15~20:40
メートプラザ佐賀
(佐賀勤労者総合福祉センター)
多目的ホール
佐賀市兵庫北3丁目8-40 ☎0952-33-0003

内科 (佐賀会場) 3月23日(金) 19:00~21:00 外来 21:00~21:40 入院
佐賀市文化会館 中ホール
佐賀市日の出1-21-10 ☎0952-32-3000

内科 (唐津会場) 3月24日(土) 15:00~16:00 入院 16:10~18:10 外来
唐津市文化体育館 文化ホール
唐津市和多田大土井1-1 ☎0955-73-2888

※できる限り事前の参加申し込みをお願いします。
※協会未入会の先生は、事前に入会手続きの上ご参加ください。

協会会員数

内科	659人
歯科	332人
合計	991人

(12月31日現在)

主な記事

- ・ 歯科研究会「リンゴ丸かじりできる総義歯」……………2面
- ・ 第29回九州ブロック地域医療交流会in大分……………3面
- ・ 第9回保団連九州ブロック協議会と九州厚生局との懇談会……………4面
- ・ 共済部だより「グループ保険配当金確定」……………7面
- ・ 経営財務「仮想通貨取引による所得について」……………8面

「佐賀市 南里 正晴」

10年ぶりに「広辞苑」の改訂新版(第7版)が刊行された。第7版で「スマホ」「ツイッター」「朝ドラ」など現代生活に欠かせない新語が1万語も追加されたらしい。辞書の代名詞である「広辞苑」だが一度も購入したことがない▼パソコンやスマホで簡単に言葉が検索でき、少し難しい言葉もキーワードを一回叩くだけで正確な漢字に変換できる現代、普通版8500円はとて高価な気がしてしまふ。確かに学生時代には辞書をよく使っていたが、最近辞書というものを触ることすらなくなつた。自筆で手紙を書くことが少なくなつたことも辞書を使わなくなつた理由だろう▼そういう最近、肝心なところで気の利いた言葉が思い浮かぶ情けない気持ちになることが増えてきた。研修医のころ先輩医師から「医者には言葉の勉強が必要だ」と厳しく指導されたことを思い出した。昨年亡くなった日野原重明氏も「人間が他者に贈れる一番素晴らしいものは言葉である」と述べていた▼言葉の情報が簡単に手に入るようになり、辞書を引く手間が減り便利にはなつた。この原稿も辞書なしで書いている。しかし毎日患者さんと言葉のやり取りを行う私たち医師をはじめ、医療従事者は「言葉の名人」でなければならぬ。これからの言葉の勉強を続ける必要があることを広辞苑改訂のニュースを契機にあらためて考えさせられた。